

## 第2回 日本静脈経腸栄養学会 九州支部学術集会

日時：2010年9月18日（土）9:40-16:40

会場：石橋文化センター 共同ホール

当番世話人：高松英夫先生（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 病院長）

09:40 - 09:45	<b>開会の辞</b> 当番世話人：高松 英夫
09:45 - 10:45	<b>教育セミナー①</b> 昭和大学医学部外科学講座小児外科部門教授 土岐 彰 「小児短腸症候群の栄養管理」  座長：特別医療法人 熊本第一病院院長 野上 哲史
10:45 - 11:45	<b>教育セミナー②</b> 海老名メディカルサポートセンター脳神経サポート室 室長 三原 千恵 「脳神経外科領域の栄養管理」  座長：特別医療法人 熊本第一病院院長 野上 哲史
11:45 - 12:05	<b>休憩（この間に「世話人会」）</b>
12:05 - 13:15	<b>ランチョンセミナー①</b> 医療法人明和病院 副看護部長 矢吹 浩子 「NST 専門療法士（看護師）が伝える NST 活動の光と影 — アンケート調査結果から見たもの —」  <b>ランチョンセミナー②</b> 静岡県立こども病院神経科 渡邊 誠司 「胃瘻造設後の好ましくない合併症 — 障害児におけるダンピング症候群の現状とその治療オプションの考察 —」

司会: 久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 准教授 田中 芳明

## 10分休憩

### 13:25 - 14:25 一般演題 6 題

司会: 久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 講師 浅桐 公男

#### 【一般演題 1】

「小腸大量切除後患者へ NST が介入した 1 症例」

深水知英 1,2) 大脇哲洋 2) 出口尚寿 2) 甲斐敬子 2) 佐藤香奈子 2)  
福田ゆかり 2) 落司治代 2) 徳留麻美 1) 加治建 2) 高松英夫 2) 福  
枝幹雄 3) 山田勝士 1)  
鹿児島大学病院 薬剤部 1) NST2) 鹿児島大学 循環器・呼吸器・消化器疾  
患制御学 3)

#### 【一般演題 2】

「長期下痢患者に対し NST 介入した結果、下痢の改善に伴い経管栄養から経口  
摂取へ移行できた一例」

樋口絹子 1) 堀口めぐみ 1) 石井みつ子 1) 緒方教子 2) 今井恵子 3)  
加生雅也 4) 橋詰ツヤ子 1)  
医療法人朝日野会 朝日野総合病院 看護部 1) 栄養科 2) 薬剤科 3) 糖  
尿病・代謝内科 4)

#### 【一般演題 3】

「進行食道癌, 進行胃癌患者における経腸栄養管理に難渋した 1 例」

永井利明 1) 古賀哲也 1) 田村智章 1) 犬塚貞利 1) 大磯陽子 1) 松  
元淳 2) 坪内博仁 3)  
今給黎総合病院 消化器内科 1) 鹿児島県民総合保健センター 2) 鹿児島大  
学大学院 消化器疾患・生活習慣病学 3)

#### 【一般演題 4】

「半固形化栄養食品の使用で QOL 向上につながった一症例 - 吸収障害を繰  
り返した脳梗塞後遺症胃瘻造設患者を振り返って -」

白濱清香 境田理奈子 草場理恵 小田聡子 永江奈美子 吉田忍 森美和子  
久留米大学医療センター 4 階西入院棟

#### 【一般演題 5】

「肝癌・食道胃静脈瘤治療の栄養状態におよぼす影響」

大津山樹理 1) 伊藤実 2) 武藤美智子 1) 末継拓郎 1) 荻原ゆかり 1)

川口巧 2) 3) 谷口英太郎 2) 居石哲治 2) 内田夕希 4) 大塚百香 4)  
永松あゆ 4) 田中粹子 4) 佐田通夫 2) 3) 秋山良子 1) 小野緑 1)  
久留米大学病院看護部 1) 同大学医学部内科学講座 2) 同消化器疾患情報  
講座 3) 同栄養部 4)

**【一般演題 6】**

「化学放射線療法中に経口栄養剤による栄養療法を必要とする食道癌患者の背景因子の検討」

赤崎真子 1) 井樋涼子 1) 高木泰子 1) 川口巧 2) 3) 的野吾 4) 藤田博正 4) 佐田通夫 2) 3) 斧明美 1) 高松むつ子 1)

久留米大学病院看護部 1) 消化器疾患情報講座 2) 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 3) 久留米大学医学部外科学講座 4)

**10分休憩**

14:35 - 15:35 **教育セミナー③**

くらしき作陽大学 客員教授 梶谷 伸顕

「摂食・嚥下障害リハビリテーションにおける多職種連携チームの必要性」

座長：特別医療法人 熊本第一病院院長 野上 哲史

15:35 - 16:35 **教育セミナー④**

久留米大学医学部外科学講座 講師 石橋 生哉

「外科的侵襲反応と酸化的ストレス」

座長：特別医療法人 熊本第一病院院長 野上 哲史

16:35 - 16:40 **閉会の辞**

当番世話人：高松 英夫

## 2 JSPEN

---

平成 22 年 9 月 18 日（土）、久留米市石橋文化センター共同ホールにおきまして第 2 回九州支部会学術集会を開催いたしましたところ、多くの皆様に参加いただき、実り多い学術集会となりましたことを、心から御礼申し上げます。教育セミナーでは「小児短腸症候群の栄養管理」（昭和大学医学部外科学講座小児外科部門教授 土岐彰 先生）、「脳神経外科領域の栄養管理」（海老名メディカルサポートセンター脳神経サポート室室長 三原千恵 先生）、「摂食・嚥下障害リハビリテーションにおける多職種連携チームの必要性」（くらしき作陽大学客員教授 梶谷伸顕 先生）、「外科的侵襲反応と酸化的ストレス」（久留米大学医学部外科学講座講師 石橋生哉 先生）の 4 題をご講演いただき、ランチョンセミナーでは「NST 専門療法士（看護師）が伝える NST 活動の光と影-アンケート調査結果から見たもの-」（医療法人明和病院 副看護部長 矢吹浩子 先生）、「胃瘻造設後の好ましくない合併症-障害児におけるダンピング症候群の現状とその治療オプションの考察-」（静岡県立こども病院 神経科 渡辺誠司 先生）の 2 題をご講演いただきました。さらに、一般演題を 6 題発表していただき、大変に活発な質疑応答がなされました。教育講演、ランチョンセミナー、一般演題全てで有用な情報を提供していただき、勉強させていただきました。最終的な参加人数は 339 名に達し、職種別には医師 30 名、看護師 125 名、薬剤師 46 名、管理栄養士 105 名、臨床検査技師、言語聴覚士、その他 33 名が参加されました。教育講演、ランチョンセミナー、一般演題の講師、演者、座長、参加者の皆様に改めまして心から御礼申し上げます。

今回の開催に当たっては、学術集会の準備から当日の運営まで、ほとんどを九州支部会事務局にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。また、協賛頂いた企業各社にも心から御礼申し上げます。

九州支部会はまだ活動を開始して 2 年目ですが、本学術集会が栄養療法の質の向上のみならず会員相互の情報交換の場として今後とも活用され、発展することを期待しております。

第 2 回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会  
当番世話人 鹿児島大学病院病院長 高松 英夫